

# Timeless 感覚は時を越えて

2014年5月2日(金)～7月27日(日) ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

2014年、開館10周年を迎えるボーダレス・アートミュージアム NO-MA

今年度の展覧会第1弾は、「時間」を超えたイマジネーションの旅！

築80年を超えるNO-MAの古い町屋空間から

過去・現在・未来—あるいはまったく異なる場所へでかけませんか。



## 【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】

滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築し2004年6月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアムです。

障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催しています。

また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー(境界)を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。

※アール・ブリュット (仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Artは芸術、Brutはワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

## 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアム NO-MA)  
担当: 川那辺 横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2  
TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@sisyazi.jp

## 企画趣旨

本展は、創造的な営みから「時間」を捉え、イマジネーションの扉を開いていこうという試みです。

私たちは、過ぎ去った日・今この瞬間・これから訪れる出来事を、過去・現在・未来と呼んでいます。また、「時が過ぎる」「時間が流れる」と表現するように、時間が一方向に進んでいるという認識を持っているのかもしれませんが、そして、コントロールのむずかしい時間に対して恐れを抱いたり、一方ではともに生きているという感覚を持っているのではないのでしょうか。

本展で紹介する6人のアーティストは、そんな時間感覚をさまざまな方法や見方で刺激してくれます。

築80年を越えるNO-MAの古い町屋空間で、時間を越えたイマジネーションの旅に出かけましょう。

## 出展作家

遠藤一郎	Endo Ichiro	1979-	静岡県生まれ	
椎原 保	Shiihara Tamotsu	1952-	大阪府生まれ	京都府在住
武友義樹	Taketomo Yoshiki	1963-	滋賀県生まれ	滋賀県在住
西澤 彰	Nishizawa Akira	1968-	群馬県生まれ	群馬県在住
三橋精樹	Mitsuhashi Seiki	1943-	滋賀県生まれ	滋賀県在住
筒井貴希	Tsutsui Takaki	1984-	新潟県生まれ	新潟県在住

## 展覧会概要

タイトル	Timeless 時は感覚を越えて		
会 期	2014年5月2日(土)~7月27日(日)		
会 場	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16 [旧野間邸])		
開催時間	11:00~17:00		
休 館 日	月曜日休館(ただし祝祭日の場合、翌日休館)		
入 館 料	一般300円(250円) 高大生250円(200円) 中学生以下、障害のある方と付添者1名は無料 ※ ()内は20名以上の団体料金		

主 催	ボーダレス・アートミュージアムNO-MA 社会福祉法人グロー 生きることが光になる		
後 援	滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会		
協 力	アイランドジャパン株式会社、社会福祉法人湖北会 湖北まこも、 一般社団法人近江八幡観光物産協会、NPO 法人しみんふくし滋賀		

※2014年4月、滋賀県社会福祉事業団は、オープンスペースレガートとひとつになり名称が「社会福祉法人グロー」になりました。

## 出展作家紹介

### 遠藤一郎 Endo Ichiro

未来へ号は、遠藤一郎の愛車であり住居。未来美術家を名乗る遠藤は、車体に大きく「未来へ」と描かれた車に乗り全国各地を走る。車体には、行く先々で出会った人々の夢が書かれており、車上生活をしながら、「GO FOR FUTURE」のメッセージを発信し続ける。

アートイベントで展示やパフォーマンスを行うほか、現在、夙あげプロジェクト「未来龍大空夙」を各地で開催。2012年から、日本列島にメッセージを描くプロジェクト「RAINBOW JAPAN」を立ち上げ、日本列島を縦断、日本全体を勇気づけるメッセージを描く。

### 椎原 保 Shiihara Tamotsu

椎原は、彫刻ではない立体作品を空間に展開する。インスタレーションという言葉は用いず、「日常感覚で感じられることを編集する作業」としている。編集される様々なモノやコトが、空間に配置される。また、ここでの作品は、個人的なイメージ表現ではないという意味からも、井上明彦(美術家)、樋口裕昭(写真家)、藤枝守(作曲家)らとの感覚領域の層を重ね合わせた制作もしている。

こうした空間を歩き回るだけで、感覚がセンシティブになり、感じられることが豊富になって鑑賞者の頭の中で作品が生成されることとなる。

### 武友義樹 Taketomo Yoshiki

彼は、5m以上の紐が付いた棒を激しく振り、紐の動きで波のようなものをつくる。この行為は、彼の余暇になっており、朝起きてから夜眠るまで飽きることなく紐を振り続けて過ごしている。この紐付きの棒の寿命は短く、すぐに折れたり削れてしまう。そうすると、自ら材料を探しに行き新しいものをつくる。紐を振る活動に熱中するあまり、寝不足になることもある。

また、武友は2008年頃まで重量感のある壺も制作していた。壺のサイズは、主には気候の変化に準じて変化する。粘土が乾き固くなるのが好まないのか、夏場の作品は丈が低く、冬場の作品は高くなるという。

### 西澤 彰 Nishizawa Akira

彼は飛行機への限りない愛情に満ちた絵画を制作する。幼い頃に通っていた施設近くの民間飛行場から離着陸する姿をつぶさに見ていた彼が描く軽飛行機の独自性は、図版や写真ではなく、轟音を伴って飛ぶ実物の観察に基づくものであることが、その絶妙な角度で捉えた機影から読みとれる。駐機場場に停止した飛行機はほとんどなく、ほぼすべてが大空を飛んでいる。彼の絵画が私達を強く惹きつけるのは、彼の飛行機という機械や物体への偏愛ではなく、大空への飛翔という観念そのものを描き出しているからである。

### 三橋精樹 Mitsuhashi Seiki

絵は、鉛筆で描かれている。はじめに鉛筆で細密な線画を描き、その後なぜか全面を黒々と塗り込む。一見漆喰の表面のようにも見えるが、角度を変えてみるとはじめの線画が強い筆圧によって浮き出て見える。古くは、5歳の頃の記憶から、中学卒業後30数年間、仕事のために自転車で通った様々場所の風景、テレビ番組など。また絵の裏には、文章が書かれている。カタカナ表記の文章には、画面の先の延長場面が詳しく綴られている。まさに、時空を超えて、彼自身がそこに立っているかのようである。

### 筒井貴希 Tsutsui Takaki

絵は、自宅と、仕事場で昼食後の休憩時間に描く。手に取ってよく見ると看板の一部が切り抜かれて、何回も別の看板と差し替えられている。スタッフに何うと、彼は町の看板が別のものに掛け替えられたことに気付くやいなや、すぐに自分の描いた過去の看板を取り除き、新しい看板に取り替えるのだという。つまり、彼の絵は常に現実の時間軸と繋がっているのだ。彼が確信を持って認識し記録した風景の一部が「変化してしまった」ことは、彼にとって、自分が自分であることの柱を見失ってしまったような不安にかられているのだろう。彼の生活そのものと一体化した表現としての、臨場感が立ちのぼっている。

## 関連イベント

### 『夕暮れNO-MA de オープニングイベント』

本展担当学芸員によるギャラリートークを行います。当日は20時30分まで延長開館いたします。

日時：2014年5月2日（金）18:00～19:30  
会場：ボードレス・アートミュージアムNO-MA  
定員：20名（要予約）  
参加費：観覧料

### 時間を越えたイマジネーションの旅番外編 vol. 1

#### 『未来へ号 びわこ今昔バスツアー』

「未来へ号」がここ近江八幡にやってきます。

未来美術家の遠藤一郎さんといっしょに、琵琶湖湖岸の名所を巡る小旅行。  
行く先々で楽しい出会いやハプニングがまっているかもしれません。

講師：遠藤一郎（未来美術家、出展アーティスト）  
日時：2014年6月14日（土）9:00～18:00  
集合：ボードレス・アートミュージアムNO-MA  
定員：15名（要予約）  
対象：子どもから大人まで（小学生以下のお子様は保護者の方と同伴でご参加ください）  
参加費：NO-MA観覧料（その他施設への入館料は別途）※昼食はご持参ください。

### 時間を越えたイマジネーションの旅番外編 vol. 2

#### 『おとなの小学校』

もう一度、小学校に通ってみませんか。国語の時間に、みんなで絵本の新しい読み方を探したり、図工の時間には、作品をみて、話し合い、つくる楽しさに出会っていただくなど、個性溢れる先生たちといっしょにNO-MAならではの一日限りの小学校を開校します。※赴任する先生は調整中です。

日時：2014年7月5日（土）9:00～15:00  
会場：ボードレス・アートミュージアムNO-MA近辺  
定員：20名（要予約） 対象：20歳以上  
参加費：観覧料 ※昼食はご持参ください。

### 講演&ワークショップ

#### 『もの、空間、アール・ブリュットー時を越える感覚とは』

本展で一階会場の展示構成を手掛けた椎原保さんに、今回の制作にまつわるエピソードをご講演いただきます。なお、このイベントは鑑賞が深まる体験ワークショップとの2部構成でお楽しみいただきます。

講師：椎原 保（出展アーティスト）  
聞き手：横井 悠（当館学芸員）  
日時：2014年7月19日（土）13:30～15:30  
集合：野間清六郎（NO-MA向かい側）  
定員：30名（要予約／定員になり次第締め切り）  
参加費：観覧料

### >> イベントのご予約・お問い合わせ

ボードレス・アートミュージアムNO-MA

滋賀県近江八幡市永原町上16 TEL/FAX: 0748-36-5018 URL: <http://www.no-ma.jp/>

## 広報用画像

掲載ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

この資料の画像・テキスト等の著作権は、当ミュージアムや個人、協力団体に帰属します。

資料の情報を事前に許可なく、複製等の行為をすることはかたくお断りします。



①椎原保《ephemera/このむこう》  
2014年 photo 大西暢夫



②武友義樹《無題》  
2014年 photo 大西暢夫



③三橋精樹《無題》  
制作年不詳 紙、鉛筆  
210×295mm photo 大西暢夫



④遠藤一郎《未来へ号バス出発式、黄金町バザール、2011》  
2011年 photo アイランドジャパン株式会社



⑤筒井貴希《無題》  
制作年不詳 105×148mm  
紙、カラーボールペン、ボールペン、クレヨン、色鉛筆



⑥西澤彰《飛行機との対話》  
制作年不詳 photo 大西暢夫

### 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当: 川那辺 横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@sisyazi.jp

# Timeless

## 感覚は時を越えて

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部  
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛  
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として6点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご確認ください。

①キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記ください。

②作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌(紙)、DVD、CD等をお送り下さい。

媒体名：『 \_\_\_\_\_ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー  
ネット媒体 携帯媒体 その他

発売・放送予定日： \_\_\_\_\_

御社名： \_\_\_\_\_

ご担当者名： \_\_\_\_\_

Eメールアドレス： \_\_\_\_\_

@ \_\_\_\_\_

(〒 \_\_\_\_\_ )

ご住所： \_\_\_\_\_

お電話番号： \_\_\_\_\_

FAX： \_\_\_\_\_

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

- ① 椎原 保 《ephemera/ここのむこう》  
2014年 photo 大西暢夫
- ② 武友 義樹 《無題》  
2014年 photo 大西暢夫
- ③ 三橋 精樹 《無題》  
制作年不詳 紙、鉛筆 210×295mm photo 大西暢夫
- ④ 遠藤 一郎 《未来へ号バス出発式、黄金町バザール、2011》  
2011年 photo アイランドジャパン株式会社
- ⑤ 筒井 貴希 《無題》  
制作年不詳 105×148mm  
紙、カラーボールペン、ボールペン、クレヨン、色鉛筆
- ⑥ 西澤 彰 《飛行機との対話》  
制作年不詳 photo 大西暢夫

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください(10枚まで) (  枚)

### 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA)

担当：川那辺 横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の2

TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@sisyazi.jp